



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2
43-0468(福田)
42-2462(鈴木)

毎週 日曜日 発行
お問合せは上記へ



磯高と北高の統合をめぐる 福田明議員が一般質問

磯原高と北茨城高の統合について、福田明議員は3月9日の市議会一般質問で取り上げました。

まず北茨城高の創立の経過について「96年(昭和41年)の創立当時、市の人口は5万6千人。高校は磯高1校のみで、高校進学者の7割が高

萩、日立、福島の高校進学せざるえない状況であった。そのよつな中、地元関係者の支援により市当局の誘致運動が実を結んだ」とふりかえりました。

そして現在、市内の中学生は1633人で、学年では500余人。今回の統合計画に

よると、定員は現在の1校で8クラス、20名から、6クラス、40名に削減される。そうなる以前のように、地元の高校に入りたくても半分以上が入れない結果にもなる」と指摘。

「市内中学生の受験に対する影響はきわめて大きい」と質問しました。

これに対して、市教育委員会は今年、両校とも志願者数が定員割れしており、今後の少子化を考えると影響はないと考える」と答弁。これに対して福田議員は「地元の生徒が地元の高校に通えるためにも、市として統合



平潟の上空3000m付近から北茨城高校方面を見る。
(「Google Earth」より)

校のクラスを増やすよう県に働きかけるべき」と要求しました。

また、統合校は磯高の校舎を使用するため、現在の北高の跡地利用について福田議員は北高の敷地は7千平方メートル(2万坪)を超え、面積も環

市内巡回バスの路線が、来月1日から一部改善される見込みです。

市当局による

と、磯原大日本地域が従来の緑ヶ作バス停から関屋(大日本公民館)まで延長。また華川地域の雨情の里スポーツ広場から唐虫まで延長等がされると

朗報
市内巡回バス
大日本、華川地区で
改善・延長

してします。これらは地域住民から日本共産党市議団に寄せられていた要望でもあり、同市議団は実現のために市に交渉するなど力を尽くしてきました。関係住民の方も「本当に実現してうれしい、まわりの人にも報告する」と喜んでます。

普通救命講習会

花園モール
で開催

市消防では、関南公民館と中郷多目的集会所での救命講習会2回のほか、地域の団体や学校、企業から要請を受けての講習会も開かれます。昨年実績では22回、484名の参加を数えました。

写真はさる2月26日、花園地域の分団と地域住民を対象に開かれた講習会のようすです。AED(自動体外式除細動器)の扱いを含め、時間の講習。若い方の参加もみられました。たまたま観光

境もすばらしいものがある。その跡地利用については市としても検討し、県に積極的に有効活用を働きかけるべきである」と要望。市当局は「県の動向をみながら検討したい」と答弁しました。

で来られた方も参加して、雨で外の散策が楽しめなかつたけど、思わぬ勉強ができてとても興味深かった」と感想が聞かれたとか。

この講習会は、受講者5人につき消防署員1人ずつの配置が必要となります。消防では、非番の時間を組み入れが課題です。



3000人が舌つづみ

にぎわった「どぶろく&あんこう鍋祭」牛肉の串焼き、杵つきモチ、竹細工作りのテントなどが並びました。
(3月5日、大津港の海鳥公園)



てのモニターシオンで対応しています。一人でも多くの市民に受けていただきたい面はあるものの、開催要請にこたえていないのが現状では限界にきていること。この面からも増員が課題です。